

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 6 部門第 2 区分

【発行日】平成 19 年 5 月 10 日 (2007.5.10)

【公開番号】特開 2005-274813 (P2005-274813A)

【公開日】平成 17 年 10 月 6 日 (2005.10.6)

【年通号数】公開・登録公報 2005-039

【出願番号】特願 2004-86027 (P2004-86027)

【国際特許分類】

G 0 3 F 7/00 (2006.01)

G 0 3 F 7/029 (2006.01)

G 0 3 F 7/20 (2006.01)

【F I】

G 0 3 F 7/00 5 0 3

G 0 3 F 7/029

G 0 3 F 7/20 5 1 1

【手続補正書】

【提出日】平成 19 年 3 月 20 日 (2007.3.20)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

親水性支持体上に、(A)(a-1)鉄アレーン錯体化合物及び(a-2)トリプロモアセチル化合物から選ばれる少なくとも 1 種の重合開始剤と、(B)エチレン性不飽和重合性化合物と、(C)アルカリ可溶性樹脂バインダーとを含有する画像形成層を有する感光性平版印刷版材料に、デジタル・ミラー・デバイスを用いて画像様に紫外領域の光を照射することにより画像記録を行い、その後、該画像形成層の未露光部を、アルカリ性水溶液により除去することにより、平版印刷版を作製することを特徴とする平版印刷版の作製方法。

【請求項 2】

親水性支持体上に、(A)(a-1)鉄アレーン錯体化合物及び(a-2)トリプロモアセチル化合物から選ばれる少なくとも 1 種の重合開始剤と、(B)エチレン性不飽和重合性化合物と、(C)アルカリ可溶性樹脂バインダーとを含有する画像形成層を有する感光性平版印刷版材料に、デジタル・ミラー・デバイスを用いて画像様に紫外領域の光を照射することにより画像記録を行い、その後、該画像形成層の未露光部をアルカリ性水溶液により除去したものであることを特徴とする平版印刷版。

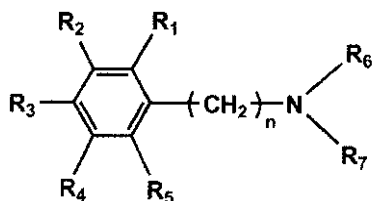
【請求項 3】

前記(C)アルカリ可溶性樹脂バインダーが、側鎖にカルボニル基及び重合性二重結合を有するビニル系重合体であることを特徴とする請求項 2 に記載の平版印刷版。

【請求項 4】

前記画像形成層が、下記一般式(I)で表される化合物またはその縮合物から選ばれる少なくとも一種を含有することを特徴とする請求項 2 又は 3 に記載の平版印刷版。

一般式(I)



(式中、 n は1～10の整数を表し、 $R_1 \sim R_5$ はそれぞれ独立して、水素原子、ハロゲン原子、水酸基、ホルミル基、カルボキシル基、シアノ基、ニトロ基、スルホ基、もしくは、各々置換基を有していてもよいアルキル基、アリール基、芳香族複素環基、アルコキシ基、アシル基、アルコキシカルボニル基、アルケニル基、アリールオキシ基、アクリロイルオキシ基、アルキルカルボニルオキシ基、アルキルチオ基、アルキルスルホニル基、フェニルスルホニル基、アミノ基、またはアミド基を表す。

R_6 、 R_7 は、それぞれ独立して、水素原子、あるいは、各々置換基を有していてもよいアルキル基、アリール基、芳香族複素環基、アルケニル基、またはアクリロイル基を表す。)

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】発明の名称

【補正方法】変更

【補正の内容】

【発明の名称】平版印刷版の作成方法及び平版印刷版

【手続補正3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0007

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0007】

(請求項1)

親水性支持体上に、(A)(a-1)鉄アレーン錯体化合物及び(a-2)トリブロモアセチル化合物から選ばれる少なくとも1種の重合開始剤と、(B)エチレン性不飽和重合性化合物と、(C)アルカリ可溶性樹脂バインダーとを含有する画像形成層を有する感光性平版印刷版材料に、デジタル・ミラー・デバイスを用いて画像様に紫外領域の光を照射することにより画像記録を行い、その後、該画像形成層の未露光部を、アルカリ性水溶液により除去することにより、平版印刷版を作製することを特徴とする平版印刷版の作製方法。

(請求項2)

親水性支持体上に、(A)(a-1)鉄アレーン錯体化合物及び(a-2)トリブロモアセチル化合物から選ばれる少なくとも1種の重合開始剤と、(B)エチレン性不飽和重合性化合物と、(C)アルカリ可溶性樹脂バインダーとを含有する画像形成層を有する感光性平版印刷版材料に、デジタル・ミラー・デバイスを用いて画像様に紫外領域の光を照射することにより画像記録を行い、その後、該画像形成層の未露光部をアルカリ性水溶液により除去したものであることを特徴とする平版印刷版。

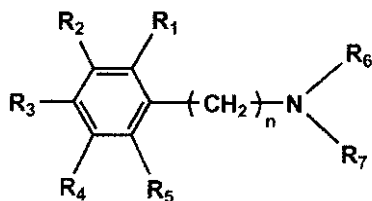
(請求項3)

前記(C)アルカリ可溶性樹脂バインダーが、側鎖にカルボニル基及び重合性二重結合を有するビニル系重合体であることを特徴とする請求項2に記載の平版印刷版。

(請求項4)

前記画像形成層が、下記一般式(I)で表される化合物またはその縮合物から選ばれる少なくとも一種を含有することを特徴とする請求項2又は3に記載の平版印刷版。

一般式(I)



(式中、 n は1～10の整数を表し、 $R_1 \sim R_5$ はそれぞれ独立して、水素原子、ハロゲン原子、水酸基、ホルミル基、カルボキシ基、シアノ基、ニトロ基、スルホ基、もしくは、各々置換基を有していてもよいアルキル基、アリール基、芳香族複素環基、アルコキシ基、アシル基、アルコキシカルボニル基、アルケニル基、アリールオキシ基、アクリロイルオキシ基、アルキルカルボニルオキシ基、アルキルチオ基、アルキルスルホニル基、フェニルスルホニル基、アミノ基、またはアミド基を表す。)

R_6 、 R_7 は、それぞれ独立して、水素原子、あるいは、各々置換基を有していてもよいアルキル基、アリール基、芳香族複素環基、アルケニル基、またはアクリロイル基を表す。)